

<図表3-19 今回設定した優先整備区域による緑の保全・創出のイメージ>

新たな事業化計画（平成23～32年度）の優先整備区域 433ヘクタール
 首都東京の防災機能の強化：避難場所や防災拠点となる公園・緑地の整備促進・・・176ヘクタール（区部 108ヘクタール、多摩部 68ヘクタール）
 大規模救出救助活動拠点が指定されている公園の整備の重点化（41ヘクタール）
 新たに練馬城址公園、高井戸公園の整備に着手し避難場所として確保（34ヘクタール） 地域における防災拠点の整備 等
 水と緑のネットワークの形成：上記の公園・緑地を含め、丘陵地、崖線、河川沿いの緑等、東京の骨格となる緑を保全・創出

* 代表的な公園・緑地を図中に表示

